

整理部ニ相當スル業務ヲ實施ス

第五條

本規程中部隊長ト稱スルハ特ニ示スモノノ外獨立

部隊長部隊長死セシモニ在リテハ其職權ヲ代行スル者ヲ含ムトシ部隊長以下全員死亡シタ

ル部隊ニ在リテハ其直屬上級部隊長又ハ指定セラレタル者ト

シ當該部隊復員完結後及建制ヲ維持セズ歸還ル部隊

ニ在リテハ殘務整理部長昭和十一年四月六日一復第六八二號ニ據ルニ適用ス但シ殘務

整理部設置前ニ在リテハ留守業務局長ニ適用スルモノトス

第六條

本規程中徵集(任官)年、役種、兵種、官等級ト

アルハ特ニ示ス場合外軍屬ニ在リテハ其ノ身分雇傭人ニ在リテ其種類

及級俸(月給額)トス

第七條

領土ノ歸屬不明ナル地域ニ本籍ヲ有スル者ノ留

守業務處理ニ關シハ本規程中特ニ示スモノノ外別ニ規

定スル所ニ據ルモノトス

第二章 人員ノ掌握

第八條

人員ノ掌握ハ留守業務處理ノ基礎ヲ爲シ

最ニ重要ナル事項ナルヲ以テ關係當事者ハ相互ニ積極的

連繫協力ニ努メ之カ的確ナル處理ニ萬遺憾ナカラシムルヲ

要ス人員ノ異動頻繁ナル部隊、損耗甚大ナル部隊、建制ヲ

維持セズ歸還スル部隊ニシテ關係書類皆無ナルモノ等ニ於テ

然リトス

第九條

人員掌握ノ結果ハ復員部隊及留守業務局ニ

於テ從前ノ規定ニ據リ保管シタル留守名簿ニ依リ人員掌

握ノ結果ヲ明確ナラシムルヲ本則トス之ガ爲復員部隊ニ

在リテハ該名簿ヲ凡ハニ整備シ特ニ其上部欄外ニ夫々左

ノ例ニ倣ヒ明瞭ニ註記スル外部隊人員調査表(様式第一)ヲ

添へ成ルハ速カニ殘務整理部經由留守業務局ニ送付

スルモノトス

18、12、3 於何地戦死(戦病死)(戦傷死)(戦死認定)(死亡認定)

19、2、5 於何地生死不明

19、3、1 何家ニ轉属

20、10、30 現地(内地)除隊(豫備隊編入)(召集解除)(解職)(解雇)(解籍)

第10条 留守名簿ヲ有セタル部隊アルトキハ當該部隊ノ殘務整理部長ハ留守名簿ヲ前條ノ準ニシテ補修整備スルモノトス

21、4、1

21、1、23

21、2、1

20、1、4

内地選送

戦犯トシテ於何地死刑(重労働何年)

何々爲何地残置

戦犯容疑者トシテ何地抑留

前項ノ外各復員部隊ハ人員掌握上参考ト爲ルベキ諸資料(轉属者連名簿、補充交代關係書類等)ヲ有スルトキハ之ヲ留守名簿ト同時ニ殘務整理部經由留守業務局ニ送付スルモノトス

第十條 留守名簿ヲ有セタル部隊アルトキハ當該部隊ノ殘務整理部長ハ留守業務局保管ノ留守名簿ヲ前條ノ準ニシテ補修整備スルモノトス

前項ノ場合留守業務局ニ之ヲ保管シアラザルトキハ各種ノ手段ヲ盡シ調製シ上留守業務局ニ送付スルモノトス

前項ニ依リ留守名簿ヲ新ニ調製スル場合ニ在リテハ通常中、昭和十九年十月三十日現在ノ人員ヲ基礎トシ爾後ノ異動ヲ明カナラシムルモノトス但シ當該期日前ノ狀況ヲ明カセル資料アルトキハ別ニ之ヲ添附スルモノトス

第十一條 建制ヲ維持セズ歸還スル部隊ノ軍人、軍属ノ掌握ハ概要左ノ要領ニ據ルモノトス

一 上陸地支局長、左ノ處理ヲ爲ス

ノ上陸地ニ於テ歸還軍人、軍属ノ携行セル一切ノ公文書類ヲ收集整理シ當該部隊ノ殘務整理部長ニ送付ス

ノ歸還軍人、軍属ヲ上陸地ニ於テ左ノ書類ヲ自ラ(ハ虎患者等)自ラ調製スル能ハサル者ニ付テハ適宜ノ者ヲ自ラ調製呈出セシム

身上申告書(様式第二)一通

死亡者 覺書(様式第三)二通

生死不明者 覺書(様式第三)一通

抑留者等 覺書(様式第三)一通

長送付ス

二 留守業務局長、地方世話部長、其他復員關係機關、職員等、當該方面、部隊及其所屬者ニ關スル諸資料（公文書類、留守宅等、申出等一切ヲ含ム）ヲ殘務整理部長ニ送付スル等積極的ニ協カス
歸還輸送ヲ終了セル方面、部隊所屬者ニシテ未歸還ノ旨、留守宅等ヨリ申出アリタル者ニ付テハ前項ニ準ジ殘務整理部長ニ通報ス

三 殘務整理部長ハ前各號ニ基キ人員ノ狀況ヲ把握シ前條ニ準ジ留守名簿ヲ整理ス

第十二條 外地ヨリ歸還セル者^{出張者ニシテ正式ニ除隊等ノ手續ヲ終了セザル者ノ掌握等ニ關シテハ昭和二十年陸軍省令第五十號ニ據ルモノトシ}地方世話部長ハ該當者アリタルトキハ關係機關ノ長ニ通報スルモノトス

第十三條 人員ノ掌握ニ關スル最終ノ整理ハ留守業務局長ニ於テ實施スルモノトシ之ガ為殘務整理部長ニ於テ掌握ノ目途ヲキモノ又ハ極メテ長時日ヲ要スルト認メラルモノハ別ニ示ス時期ニ留守業務局長ニ移管シ留守業務局長ハ之ヲ繼承整理スルモノトス

前項ニ據リ留守業務局長人員ノ整理ヲ實施スルニ方リテハ各方面ヨリ得タル諸資料全般ノ狀況等ニ基キ別ニ規定スル所ニ據リ死亡ノ認定及之ニ伴フ處理事項ヲ實施スルモノトス